

令和4年度 高齢者実態調査地区別分析結果 大田

1 調査の目的

団塊の世代が高齢期を迎え、高齢化率が年々上昇しています。高齢者を取り巻く社会環境が大きく変化し、多様化する課題やニーズに対応するためには、行政とサービス事業所、そして地域組織が協働し、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができるようにするための「地域包括ケアシステム」の構築が必要不可欠です。

東海市では、各地域の高齢者を取り巻く課題を明らかにし、「地域包括ケアシステム」を構築するための基礎的資料及び第4次東海市総合福祉計画への反映を目的とし、「高齢者実態調査」を実施しました。

また、分析結果について関係機関等に周知し、地域課題の認識及び解決に向けた取り組みの推進を図ります。

地区別分析では、市の平均との比較から、地区の特徴を見る形で報告しています。

2 調査の内容

対象：令和4年12月末現在で75歳以上となる市内在住の高齢者

時期：令和4年（2022年）5月10日～令和4年（2022年）9月30日

方法：民生委員による個別面接調査（実態調査票）

対象者数：14,624人

有効回答数（回収率）：13,095人（89.5%）

○当該地区データ

対象者数：867人

有効回答数（回収率）：779人（89.9%）（平成29年度調査の回収数：748件）

○ 調査結果の表示方法

- ・回答数は該当者のみが回答するなど、分析方法によって違いがあります。

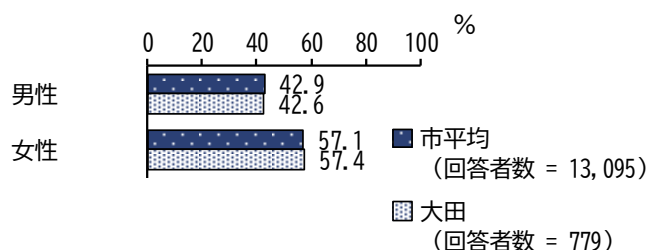
3 地区の高齢者の実態（高齢者実態調査から）

F1 性別／F2 年齢 ※住民基本台帳の情報を参考

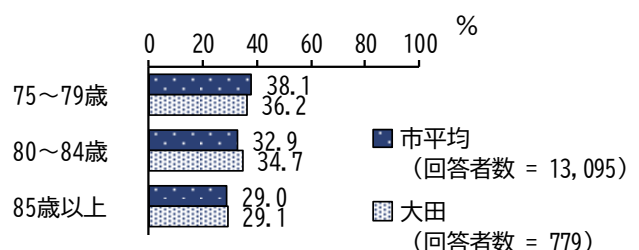
「男性」の割合が42.6%、「女性」の割合が57.4%となっています。

「75～79歳」の割合が36.2%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が34.7%、「85歳以上」の割合が29.1%となっています。

[性別]



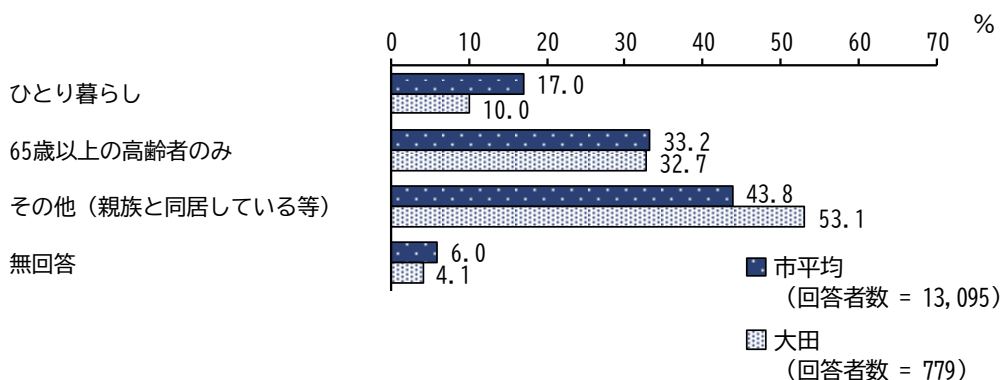
[年齢]



問1 世帯状況

「その他（親族と同居している等）」の割合が53.1%と最も高く、次いで「65歳以上の高齢者のみ」の割合が32.7%、「ひとり暮らし」の割合が10.0%となっています。

年齢別で見ると、75～79歳で「65歳以上の高齢者のみ」の割合が、85歳以上で「その他（親族と同居している等）」の割合が高くなっています。



【性別（問1×F1）、年齢別（問1×F2）】

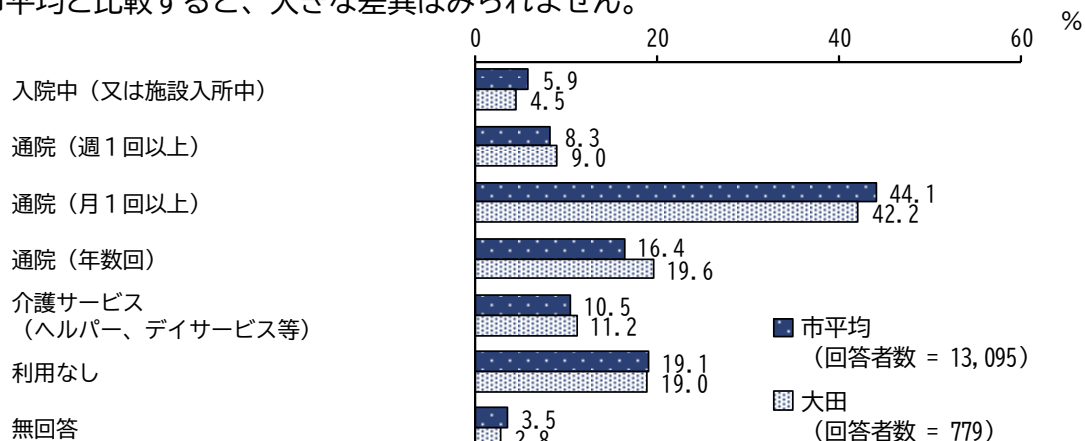
単位：%

区分		回答者数 (件)	ひとり暮らし	65歳以上の高齢者のみ	その他（親族と同居している等）	無回答
全体		779	10.0	32.7	53.1	4.1
性別	男性	332	7.8	43.4	47.3	1.5
	女性	447	11.6	24.8	57.5	6.0
年齢別	75～79歳	282	8.5	39.4	48.9	3.2
	80～84歳	270	11.1	33.0	53.0	3.0
	85歳以上	227	10.6	24.2	58.6	6.6

問2 現在病院や介護保険サービスの利用の有無（複数回答可）

「通院（月1回以上）」の割合が42.2%と最も高く、次いで「通院（年数回）」の割合が19.6%、「利用なし」の割合が19.0%となっています。

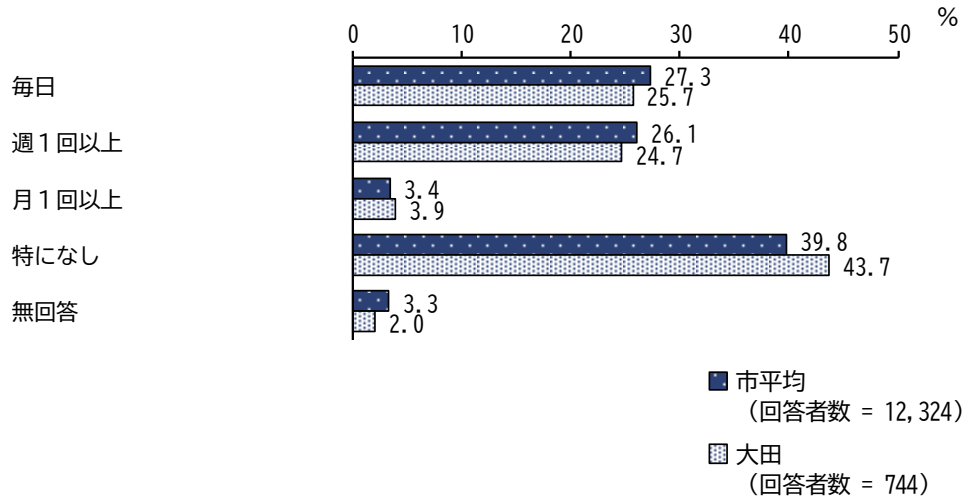
市平均と比較すると、大きな差異はみられません。



問3 体操やウォーキング等、健康づくりによる取り組み状況

「特になし」の割合が43.7%と最も高く、次いで「毎日」の割合が25.7%、「週1回以上」の割合が24.7%となっています。

世帯状況別でみると、ひとり暮らしで「週1回以上」の割合が高くなっています。



【年齢別（問3×F2）、世帯状況別（問3×問1）、家族外交流別（問3×問4）】

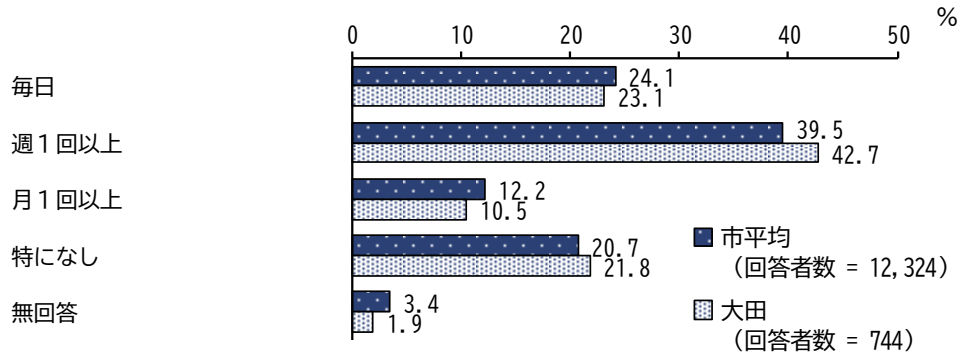
単位：%

区分		回答者数(件)	毎日	週1回以上	月1回以上	特になし	無回答
全体		744	25.7	24.7	3.9	43.7	2.0
年齢別	75～79歳	280	32.1	27.1	3.6	35.7	1.4
	80～84歳	262	26.0	22.1	3.1	46.9	1.9
	85歳以上	202	16.3	24.8	5.4	50.5	3.0
世帯状況別	ひとり暮らし	77	26.0	37.7	2.6	31.2	2.6
	65歳以上の高齢者のみ	250	29.6	22.4	3.2	43.2	1.6
	その他（親族と同居している等）	403	23.1	24.3	4.7	46.4	1.5
家族外交流別	毎日	172	41.3	17.4	1.2	37.8	2.3
	週1回以上	318	23.9	38.1	3.8	33.0	1.3
	月1回以上	78	20.5	11.5	12.8	53.8	1.3
	特になし	162	15.4	13.6	3.1	66.0	1.9

問4 家族以外の人との交流頻度

「週1回以上」の割合が42.7%と最も高く、次いで「毎日」の割合が23.1%、「特になし」の割合が21.8%となっています。

世帯状況別でみると、ひとり暮らしで「週1回以上」の割合が高くなっています。



【年齢別（問4×F2）、世帯状況別（問4×問1）】

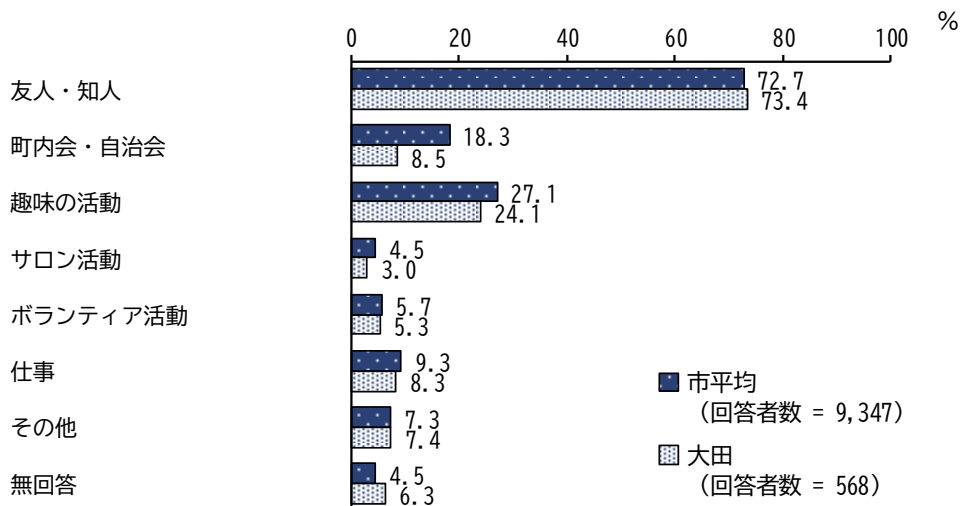
単位：%

区分		(回答者数)	毎日	週1回以上	月1回以上	特になし	無回答
全体		744	23.1	42.7	10.5	21.8	1.9
年齢別	75～79歳	280	25.0	45.0	9.6	18.2	2.1
	80～84歳	262	26.3	38.2	11.1	22.1	2.3
	85歳以上	202	16.3	45.5	10.9	26.2	1.0
世帯状況別	ひとり暮らし	77	19.5	55.8	10.4	14.3	-
	65歳以上の高齢者のみ	250	22.4	43.6	10.8	20.8	2.4
	その他（親族と同居している等）	403	23.3	40.7	9.9	24.3	1.7

問5 家族以外の交流関係

「友人・知人」の割合が73.4%と最も高く、次いで「趣味の活動」の割合が24.1%、「町内会・自治会」の割合が8.5%となっています。

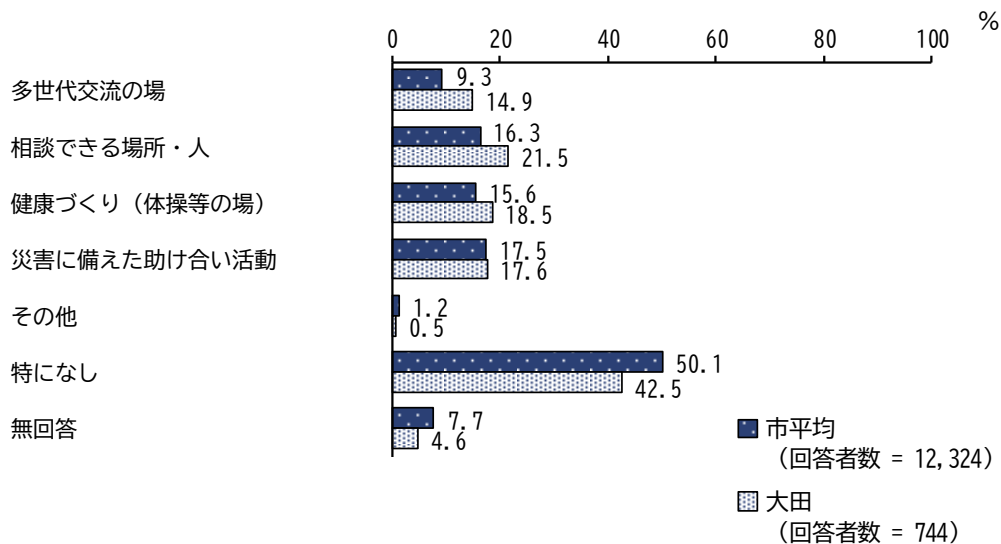
市平均と比較すると、「町内会・自治会」の割合が低くなっています。



問6 安心して生活するために、今後身近な地域に必要と感じるものは何ですか
(複数回答可)

「特になし」の割合が42.5%と最も高く、次いで「相談できる場所・人」の割合が21.5%、「健康づくり(体操等の場)」の割合が18.5%となっています。

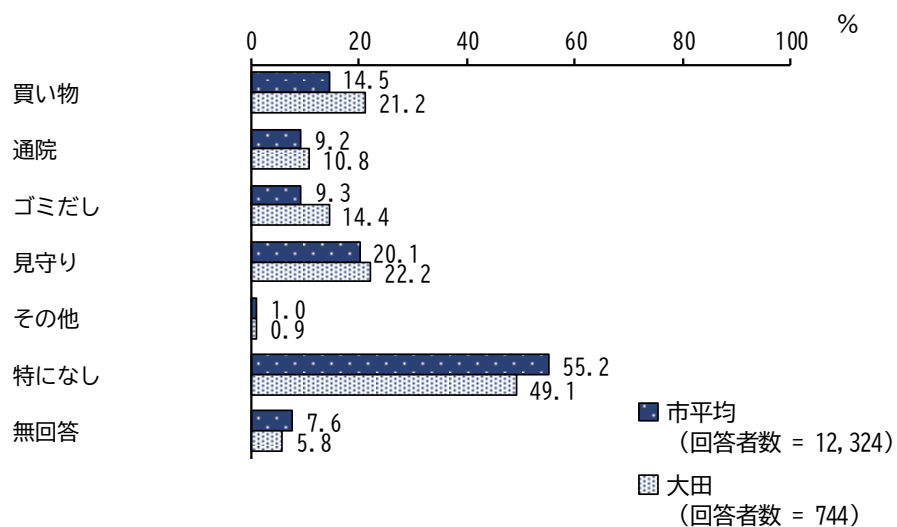
市平均と比較すると、「相談できる場所・人」の割合が高くなっています。



問7 今後、地域で助け合えると良いと思うことは何ですか(複数回答可)

「特になし」の割合が49.1%と最も高く、次いで「見守り」の割合が22.2%、「買い物」の割合が21.2%となっています。

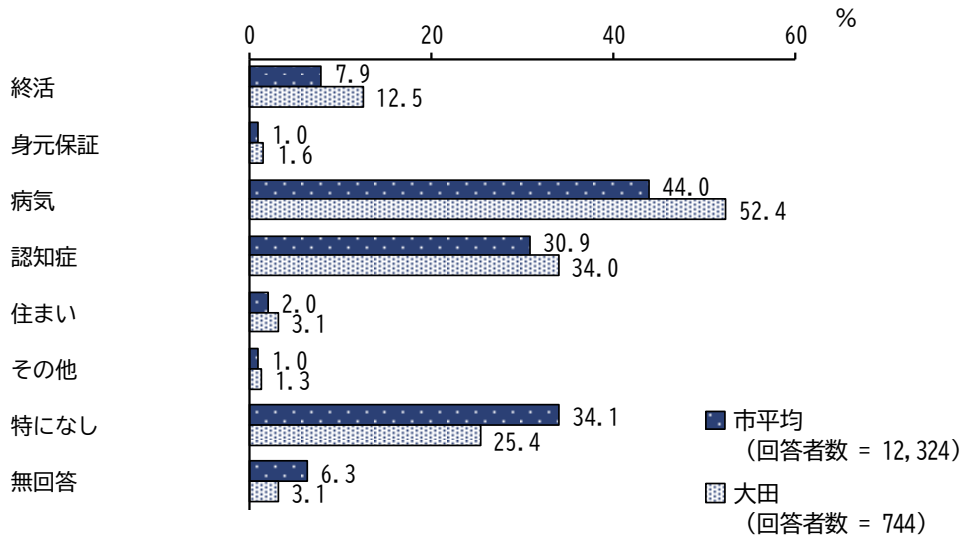
市平均と比較すると、「買い物」「ゴミだし」の割合が高くなっています。



問 8 将来への不安に思うことは何ですか（複数回答可）

「病気」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「認知症」の割合が 34.0%、「特になし」の割合が 25.4%となっています。

市平均と比較すると、「病気」の割合が高くなっています。
年齢別で見ると、大きな差異はみられません。



【年齢別（問 8×F2）、世帯状況別（問 8×問 1）、健康活動別（問 8×問 3）、家族外交流別（問 8×問 4）】

単位：%

区分		回答者数 (件)	終活	身元保証	病気	認知症	住まい	その他	特になし	無回答
全体		744	12.5	1.6	52.4	34.0	3.1	1.3	25.4	3.1
年齢別	75～79 歳	280	12.5	1.1	52.1	34.6	3.9	1.8	26.4	2.9
	80～84 歳	262	12.6	1.1	54.6	34.7	2.3	1.1	24.4	2.3
	85 歳以上	202	12.4	3.0	50.0	32.2	3.0	1.0	25.2	4.5
世帯状況別	ひとり暮らし	77	16.9	6.5	54.5	31.2	9.1	-	22.1	1.3
	65 歳以上の高齢者のみ	250	16.0	1.2	57.2	34.0	3.2	1.6	25.2	3.2
	その他（親族と同居している等）	403	9.4	1.0	48.6	35.0	2.0	1.5	27.0	3.0
健康活動別	毎日	191	13.6	1.0	53.4	39.8	2.1	2.6	23.0	2.1
	週 1 回以上	184	13.0	2.7	54.9	35.9	2.2	1.1	23.9	2.2
	月 1 回以上	29	13.8	-	62.1	41.4	3.4	-	17.2	3.4
	特になし	325	11.7	1.5	50.5	29.5	4.3	0.9	28.6	3.1
家族外交流別	毎日	172	7.0	1.7	48.8	31.4	1.7	-	28.5	4.7
	週 1 回以上	318	14.8	1.9	52.8	39.6	3.8	1.6	22.6	2.2
	月 1 回以上	78	15.4	1.3	62.8	34.6	2.6	-	19.2	1.3
	特になし	162	11.7	1.2	53.7	25.3	3.7	3.1	30.2	3.1

4 地区の高齢者の詳細ニーズ分析（世帯状況×地域交流）

高齢者のニーズについて、世帯状況と家族以外の人との交流状況（週一回以上を“交流あり”と設定）に着眼し、2つの組み合わせで6つのタイプに分類してニーズを分析しました。

『安心して生活するために、今後身近な地域に必要と感じるもの』については、地域の環境整備として公的に必要なニーズを分析することができます。

一方で、『今後、地域で助け合えると良いと思うこと』については、自らができると思うことや人と人との助け合いにより実現できる可能性があるニーズを分析することができます。

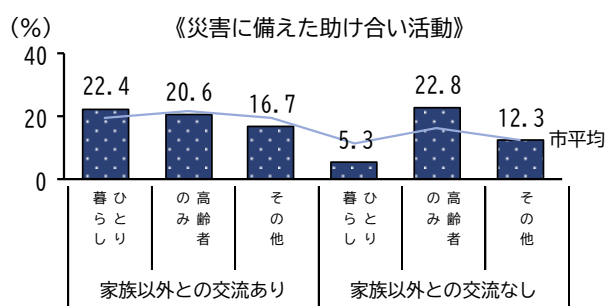
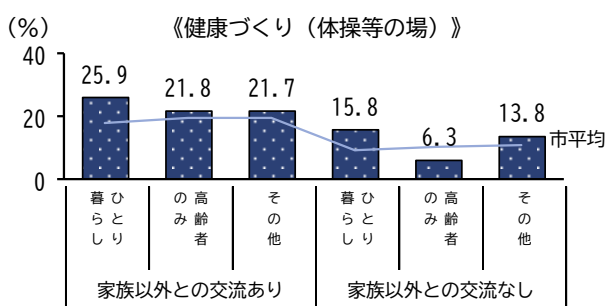
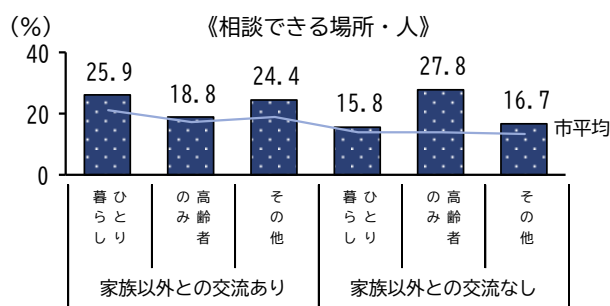
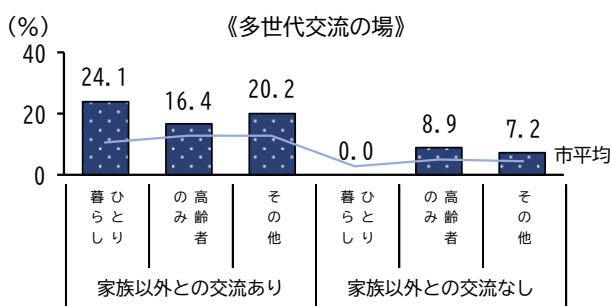
特に、市平均と比較して、高い値を示した項目は、当該地区の特徴的なニーズと言えます。

【6タイプ】

- ①家族以外との交流がある「ひとり暮らし」世帯
- ②家族以外との交流がある「65歳以上の高齢者のみ」世帯 ※“高齢者のみ”と表記
- ③家族以外との交流がある「その他（親族と同居している等）」世帯 ※“その他”と表記
- ④家族以外との交流がない「ひとり暮らし」世帯
- ⑤家族以外との交流がない「65歳以上の高齢者のみ」世帯 ※“高齢者のみ”と表記
- ⑥家族以外との交流がない「その他（親族と同居している等）」世帯 ※“その他”と表記

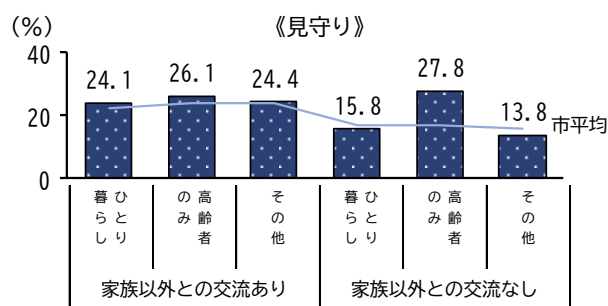
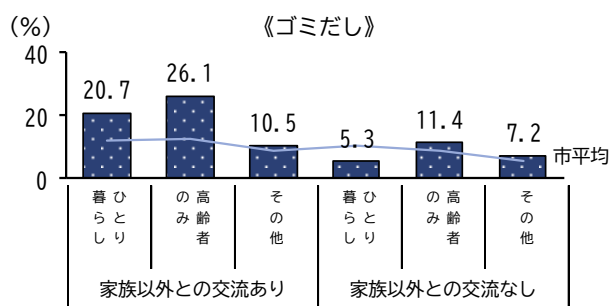
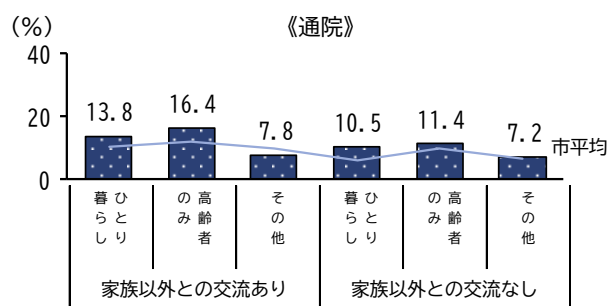
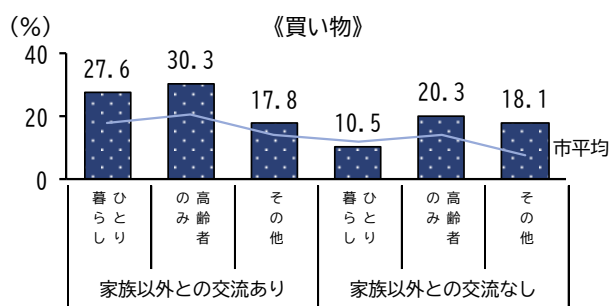
安心して生活するために、今後身近な地域に必要と感じるもの

大田地区では、『多世代交流の場』の割合が、家族以外との交流がある「ひとり暮らし」世帯で、『相談できる場所・人』の割合が、家族以外との交流がない「高齢者のみ」世帯で、市平均より高くなっています。



今後、地域で助け合えると良いと思うこと

大田地区では、『ゴミだし』の割合が、家族以外との交流がある「高齢者のみ」世帯で、『見守り』の割合が、家族以外との交流がない「高齢者のみ」世帯で、市平均より高くなっています。

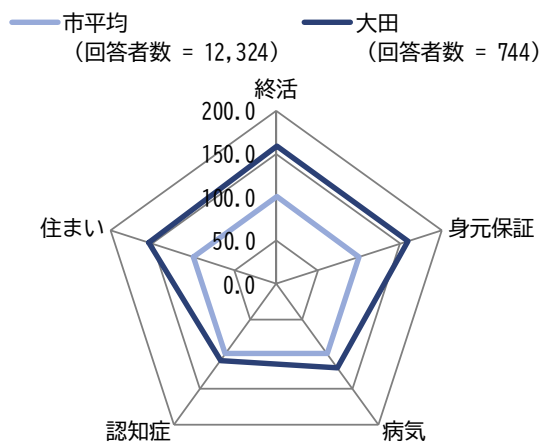


総 括

将来へ不安に思うこと

※将来へ不安に思うことについて、市平均を100.0とした時の当該地区の特徴を示しました。

【将来への不安に思うこと】



大田地区は、市平均と比較すると、「その他」世帯の割合が高く、親族と同居している人が多くなっています。また、家族以外の人との交流頻度をみると、「週1回以上」の割合が高くなっており、一定の交流が行われていることがうかがえます。

地区の詳細分析では、身近な地域に必要なものとして、「家族以外との交流がある高齢者のみ」世帯では、「多世代交流の場」を、「家族以外との交流がない高齢者のみ」世帯では、「相談できる場所・人」を求めている割合が高くなっており、多くの方が地域での交流を求めている様子が見えます。

大田地区の同居世帯が多いという地域特性を活かし、世代間交流などを促進するなどして地域での交流の場を拡充することで、高齢者が楽しく、安心して暮らせる環境を構築することが期待できます。